

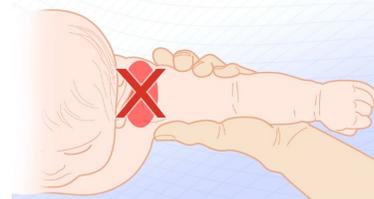


使用方法の詳細は、
電子添文をご参照ください。

接種部位



接種部位は
上腕外側のほぼ中央部です。
これ以外の部位に接種しないで
ください。



特に肩に近い部位に接種すると
ケロイドを生じやすくなるので
絶対に避けてください。

接種方法

1



接種部位をアルコール綿で消毒し乾燥させます。
アルコールが乾かないうちにワクチンを滴下すると
BCGが死滅するので、滴下の前には部位が乾燥して
いることを確認してください。

2



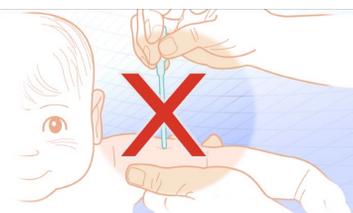
接種する上腕を下から握り水平に固定します。

ワクチン液をスポイトで泡を立てないようにゆっくり
吸い上げます。

3



スポイトを垂直かわずかに
傾けて大きめの1滴のワクチン
液を滴下します。
通常、1滴で十分ですが、
不十分と思われた場合さらに
1滴、滴下してください。

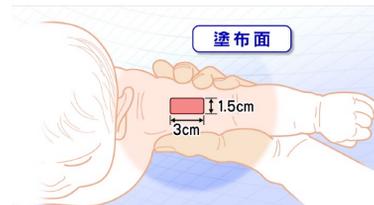


スポイトの先端が皮膚に触れない
ように注意してください。

4



滴下したワクチン液を管針の
ツバの側面で上腕の縦方向に
沿って塗りひろげます。
このとき、ツバで強くこすり
塗布層が薄くなりすぎないよ
うに注意します。



上腕の縦方向に沿って幅約
1.5cm、長さ約3cm程度の範囲に
塗りひろげます。

5



ワクチンを塗りひろげた後、管針を皮膚面に垂直に保ちながら、上腕部を下からささえている手で強く握って接種部位の皮膚を少し緊張させ、ツバの上下両端が皮膚に十分つくまで通常、**皮膚が5～6mmへこむ程度、管針を強く押して接種**します。

6



接種のための押圧は**2回**行います。



2カ所の押し方は、管針の縁でできる円跡が腕の縦方向にならんで相互に接するようにします。

2カ所の接種が互いに重なると、針痕の反応が融合し、局所反応が強くなるおそれがあります。また、管針を押すとき、管針をねじらないように注意しましょう。

7



押し終わったら、ワクチンを塗りひろげたときと同様にツバの側面で皮膚上のワクチンを2～3回針痕になすりつけます。

8



接種した針痕から少量の出血をみることがありますが、そのまま放置します。

接種部位は自然に乾燥させてください。

写真提供 公益財団法人結核予防会

本資料に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



日本ビーシージー製造株式会社

カスタマーセンター

東京都文京区大塚 1 丁目 5 番 21 号

TEL 03-5395-5590

受付時間：月～金曜日 9:00～17:00（祝祭日及び弊社休業日を除く）